

# 富山経済同友会

会報

2021.11月  
No. 304



第2回文化スポーツ委員会（勝興寺）（10月19日）

## CONTENTS

- 10月会員定例会 ..... 2
- 【講演録】10月会員定例会（山下 良則 氏）… 2
- 第29回経済同友会中央日本地区会議 ..... 7
- 第8回5 経済同友会教育担当委員会交流会… 8
- 第2回文化スポーツ委員会 ..... 9
- 第2回地域創生委員会 .....10
- 第3回地域創生委員会（フィールドワーク）…11
- 第2回人財活躍委員会 .....16
- 第5回企業経営委員会 .....16
- 課外授業講師派遣 .....17
- 慶事のお知らせ .....20
- 「同友会の日」カターレ富山戦.....20
- リレーエッセイ<sup>®</sup>（辻井 益雄 氏）.....21
- 活動報告 .....22
- 会員の入退会 .....24
- トピックス（富山県知事表敬訪問）.....25
- 今後の予定 .....25
- わが青春の1枚（島田 好美 氏）.....26



# 地方創生のさらなる推進を

山下良則氏講演 — 10月会員定例会 —

10月会員定例会が10月11日(月)、ホテルニューオータニ高岡で開催され、(公社)経済同友会 副代表幹事・地方創生委員会 委員長の山下良則氏(株)リコー 代表取締役 社長執行役員 CEO)が「分散型社会の実現に向けた実践活動～地方創生テレワークや副業を通じた人材活用～」と題して講演を行った。講演会は人財活躍委員会(中澤宏委員長)が主管し、会員約100名が参加した。

山下氏はまず、これまでの地方創生委員会での取組みや新型コロナウイルス感染症の拡大による地域への影響を説明。コロナ禍により、在宅勤務やリモートワークが重視さ



講演する山下氏

れ、働き方への考え方が変わったこと、ワーケーションなどをきっかけに地域の関係人口が増え、移住・定住の可能性が大きくなることを伝えた。

続けて、全国の経済同友会や地方自治体との協働、地方創生テレワークの推進に向けた内閣官房まち・ひと・しごと創生本部との連携について説明した。こうした地方創生委員会での取り組みや自身のワーケーションの実体験をもとに、仕事は場所ではなく、やり方であると語った。その後、「働くことに喜びを与える」ために取組んだ自社の働き方改革について紹介を行った。

最後に、多様な働き方ができる環境を整えるためには経営者がリーダーシップをもって実践し、社員が踏み込めるカルチャーをつくる必要があると主張。また新型コロナウイルス感染症の危機を地方創生の好機と捉え、日本を元気にしていきたいと意気込み、講演を締めくくった。

## 10月会員定例会 (2021. 10. 11) 講演録

# 「分散型社会の実現に向けた実践活動」 ～地方創生テレワークや副業を通じた人材活用～

(株)リコー 代表取締役 社長執行役員CEO 山下 良則 氏



コロナ禍で、よい人生・社会とは何かを自問自答する中、非常識が常識になることが随分起こりましたが、イノベーションはそのときに生

### (プロフィール)

1957年兵庫県生まれ。  
1980年広島大学工学部を卒業後、株式会社リコーに入社。資材部門で購買業務に従事し、香港の海外部品調達事務所 の開設や、フランスや中国での工場立ち上げを経験。英国生産会社の管理部長や米国生産会社の社長を務め、リコーのグローバル化を牽引。その後、総合経営企画室長などを経て、2017年4月より現職。

(公社)経済同友会では2018年度より地方創生委員会 委員長、2021年度より副代表幹事を務める。

まれます。ベースとなるのはダイバーシティとインクルージョンだと確信します。

今回の講演依頼があった際、富山では高度人

## KOUENROKU

材の確保・育成に苦慮していると伺いました。多様な働き方を可能とする環境が未整備で、起業者の比率が全国で最低水準。解決策としてテレワークやワーケーションの拡大、兼業・副業やジョブ型の雇用の導入、そして起業面では、支援スキームやプラットフォームの構築を検討中とのことでした。こうした関心の高いテーマにお答えするのが今日の私の役割です。大まかに3点、そして弊社が手がける実践活動も合わせてお話しします。

**◆ 地方創生委員会の振り返り**

まず、地方創生委員会における提言・実践活動の振り返りです。

「Do Tank」、行動する同友会になるべく、石破元地方創生大臣のまち・ひと・しごと創生総合戦略を受け、2015年にこの委員会は設立されました。しかし、「しごとを地方で創出する」という少し上から目線での提言書の表題からも推察されるように、東京への人口転入を抑止するという観点において、大きなうねりを生み出すには至らず、東京一極集中は続きました。17年には、国産材の有効利用を図る全国会議設立に向けて実践活動を開始。第2期の創生総合戦略ができたところで地方自治体と企業の協働メニューをつくったのですが、そこに新型コロナウイルス感染症の拡大が起きました。この3年間は、提言や実践活動の成果がなかなか出なかったと反省しております。

**◆ 新型コロナの地域への影響**

次に、新型コロナウイルス感染症の拡大による地域への影響です。

東京都の転入超過数は、毎年3月、就職や進学タイミングで一気に増えます。総務省の統計によりますと、2019年、20年は約4万人でしたが、今年は約2万8,000人と大分下がりました。そして、20年の7月から転出超過が始まり、今

年3・4月を除いて今もそれは継続しています。あれほど困難だった東京一極集中の是正が、コロナであっさりというわけです。

東京都からの転入が増えたのは埼玉、千葉、神奈川の3県で、20年と19年の比較で計約3万人の転入超過です。これは、テレワーク定着に伴う通勤の必要性低下から、この3県への住み替えが起こったからです。富山県からの転出も減ってはいますが、まだ東京都への転出超過地域。地方への移住・定住の促進は簡単ではありませんが、分散型社会実現のチャンスとなっています。

BIGLOBEが去年行ったニューノーマルの働き方に関するインターネット調査では、20代の学生が働きたいのは、在宅勤務やリモートワークが可能な会社が最多でした。コロナ前は給与が高く、残業が少ない会社との回答が多かったのですが、働く時間を自分でコントロールできる会社がいいと、働き方の自由度を重視する学生が増えているのです。

一方、地域の企業が都市部の優秀な人材を採用する「地域ハイクラス求人」への応募数は、1回目の緊急事態宣言が明けて以降、去年7月の276人から今年6月の682人と増え続けています。これは、みらいワークスの岡本社長（地方創生委副委員長）から見せていただいたデータですが、「人件費が高くつくのでは」とお聞きしても、そうではないと。実はプロジェクトベースでの契約で、1か月単位、3万円程度の報酬でも、都市部大企業のプロフェッショナル人材が多く集まるそうです。

関連データですが、副業をきっかけとする地域への移住・転職に対する関心です。35歳から65歳まで、10歳ごとに3世代に分けての質問ですが、いずれも約20%が移住・転職につながる「可能性あり」。「やや可能性あり」を加えると、60%以上になります。これは、首都圏のオフィスで仕事をする働き方が変わってきた結果では

ないでしょうか。

地方創生委員長となった当初、定住人口の増加を図るには、その地域に魅力あるしごとをつくる必要があると考えましたが、実はそうではありません。テレワークやワーケーションをきっかけに交流人口が増え、地域と関わることでそれが関係人口に変わり、さらには定住の可能性を大きくするのです。

### ◆ 分散型社会実現への実践(協働メニュー)

分散型社会の実現に向けた実践活動ということで、地方自治体と企業との協働メニューをご紹介します。

経済同友会がまとめた7つの協働メニューのうち3つについて、富山の人財活躍委員会とともに進めております。1つ目は、テレワークの推進による地域への人材や知の分散。2つ目は、地方自治体や地域企業への人材や技術の提供。3つ目は、地域のスタートアップ企業と都市部企業とのネットワーク構築です。

経済同友会事務局が各地の同友会様と連携して地方自治体に協働メニューを提示しておりますが、20を超える自治体からワーケーションの実証実験や人材マッチングについて提案いただきました。地方自治体との協働においては首長のリーダーシップは重要であり、中でも富山県の取組みは進んでおります。

協働メニューの1、テレワークの推進による



地域への人材や知の分散では、東京の経済同友会として、政府のまち・ひと・しごと創生本部にも働きかけています。地方創生テレワーク推進に向けた検討会議では、先進企業の表彰制度の創設等を提案して今回の骨太の方針に入りましたし、地方創生テレワーク推進に関する包括連携協定も締結しました。

地方創生テレワークといっても様々な類型があり、大きく企業型と個人型に分けています。まず企業型では、BCPの観点で、ある機能を地方に持っていく機能分散型。地域での良質人材の確保を目的にした人材確保型。スマートシティなどに自治体、地域と一緒に取り組む地域共創型。出張前後に休暇を取得するプレジャー型。あと、観光地で企業合宿を行うワーケーション業務型の5つです。

個人型では、休暇をメインに取るワーケーション休暇型。副業など地域と関わるプロフェッショナル人材型。そして、親の介護や単身赴任の解除で、実家に帰りながら首都圏の仕事をする福利厚生型の3つです。

この中で、ワーケーションの業務型と休暇型についてお話しします。緊急事態宣言が全国的に解除されましたので、10月から11月にかけて、本会会員所属企業が地域に行かせていただき、ワーケーション実証実験を行います。そして、企業や社員へのメリット・デメリット、社内制度化の課題を挙げ、国や自治体へ要望として公表します。富山県も含めて27の自治体から、ワークスペースの提供やアクティビティプラン、補助制度について提案されています。

ワーケーションの率先垂範のため、緊急事態宣言の合間の4月、私自身が北海道の富良野に参りましたが、問題は仕事の場所ではなく、やり方だと実感しました。例えば北海道からテレワークで経営会議に出ても、それだけでは自宅にいるのと同じだからです。そこで、2日目は地域とのコミュニケーションを図り、そのサ

## KOUENROKU

テライトオフィスの責任者と話したのですが、やはり話すチャンスが少ない。ずっと会社の会議では、首都圏からここに来た意味がないといえます。そこで、弊社で検討中のワーケーションのルールでは、滞在時間の10%を地域の人とのコミュニケーションに充てることにしています。

## ◆ リコーの取組み

リコーは2036年に百歳を迎えますが、変わっていくお客様にこの先も寄り添い続けるにはどうすればいいのかと。1977年にOAを提唱したのも弊社ですが、その趣意書には「機械でできることは機械に任せ、人はより創造的な仕事に」とあります。まさに人がすべきは達成感があり、やりがいがある仕事で、苦行ではありません。働くことに喜びを与える会社になりたい。それには働き方を変え、社員全員がフェアな環境で仕事ができる会社にする必要があると考えました。

そこで、社長に就任した2017年に働き方改革をスタートしました。随分経費がかかりましたが、全員にノートパソコンを渡し、オフィス外でも仕事を可能にしました。私も率先してテレワークを始めました。そして、オリンピック期間中の本社の閉鎖に向けてテレワークの準備をしていたところ、新型コロナウイルス感染症が拡大したことで、それはコロナ対策に変わりました。去年4月の緊急事態宣言時には、コミュニケーションツール「Teams」を使えるようになっていたこともあり、首都圏スタッフの出勤率は約20%まで落ちました。結果的に、働く環境をフェアにする対策が不幸中の幸いとなりました。

業務のIT化は普通、プロフェッショナルに任せますが、自分の仕事を一番よく知るのは自分ですから、自らの仕事で簡単なRPAやAIを使えるように、ロボティクスも少しずつ勉強してもらいました。すると、仕事が効率化されたことで空き時間が出ます。そこに、上司が新



しい仕事を入れるのではなく、その時間を自分の自由に使えるようにしたのが私どもの社内副業制度です。その延長線上で、社外の副業申請も随分出るようになりました。年齢に限らず、興味ある仕事は前向きにできています。

出社しないと仕事にならないと考えられる生産ラインのメンバーをコロナからどう守るかが大きな課題でした。しかし、現場だからテレワークできないという概念を持つことはやめ、厚木の工場では、技術者が自宅から生産・技術指示をする工夫を進めた結果、約40%がリモート化できるところまで来ました。

また、単身赴任の解除ということで、RITS(リコーITソリューションズ)の社員の例ですが、地元が鳥取の本社マネジャーは部下が23人いましたが、実家でも業務遂行は可能だと。また、金沢のマネジャーは秋田に部下がいたり、北海道北見から鹿児島まで複数拠点をまたいで約170人が分散地域のプロジェクトとしてソフトウェアを開発しています。

ですから、言葉では難しそうなことを言いますが、リモート化は結構できますし、やってみなければ分かりません。本社の社員約2,000人のうち、今年1月、出社するのではなく、どうせ在宅だからというので約200人は実家で仕事をしていたのですが、結局はワーケーションをしていたのと同じです。もし介護などがあって地元に戻るといっても、会社を辞めなくていい

いという概念は共有化されつつあります。

ワーケーションを促進するため、社内では3つの取組みをリコーのこだわりとして計画しています。まず、労務管理や類型ごとの費用負担の明確化など、社内制度の明文化と見直しです。人が行うと大変ですから、手続のDX化を進めます。次に、社員の理解促進です。「なぜあの人だけ」という感じはありますので、社内報やイントラネット、メディアを通して情報発信します。さらに、地域とのつながり強化で、滞在中10%は地域の方との交流時間に充てます。

協働メニューの2番目、地方自治体や地域企業への人材や技術の提供ということですが、高知県・土佐経済同友会様と人材マッチングの取組みを進めてまいりました。コロナ禍で働き方が見直される中、転籍やフルタイム、対面という従来の人材要件から、出向や兼業・副業プロジェクト型、リモートの受入れと、大分軟化してきましたので、今後、件数は増えてくるはず です。

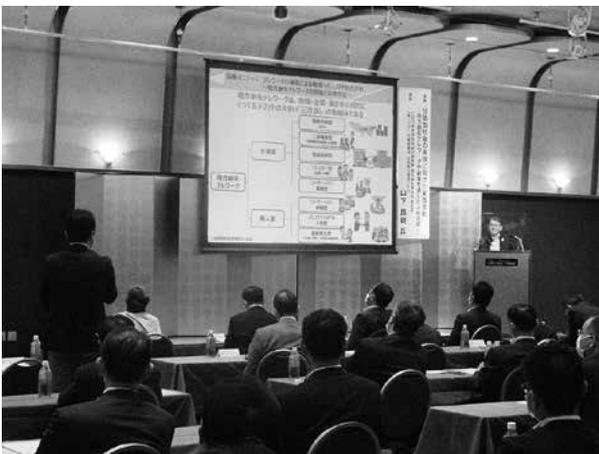
また、リコージャパンでは、人材派遣型の企業版ふるさと納税を活用し、今年、奈良県葛城市の地方創生事業に寄附を行い、SE人材1名を派遣しました。この制度は寄附額の約9割に相当する税の軽減を受けられるルールとなり、間口が広がりましたので、同友会の所属企業に事例展開すれば、広く進むと思います。

## ◆ まずは交流人口創出

冒頭で富山経済同友会様の抱える問題、検討する解決策に触れましたが、今までの話を整理する意味で申しますと、テレワークやワーケーションで交流人口を創出することが第1ステップ。そして第2ステップで兼業・副業の導入によって関係人口を創出し、最終的に定住人口へ繋げる可能性が開かれました。

地域の強みを生かすために、富山は薬の産業集積地ですから、それに特化したようなワーケーション提案を首都圏の製薬メーカーに対して行うことも有効です。そして、兼業・副業人材の働く環境を整えるには、経営者が意識改革を行い、リーダーシップを持って実践することで社員も一歩踏み込んでいけるカルチャーをつくる必要があります。

新型コロナウイルス感染症の拡大で大変な業界は多いですが、この危機を好機と捉え、地域の未来を共につくり上げる意味で、我々経済同友会も協働メニューを起点として、足を使って動き、皆さんと日本を元気にしてまいりたい想いです。





# マース(MaaS)を地域の活性化につなげる！

## ～三島市で第29回経済同友会中央日本地区会議～

10月7日(木)、三島市において第29回経済同友会中央日本地区会議が開催された。今回は「マース(MaaS)と地域経済」を総合テーマに中部地区8つの経済同友会から64名が参加し、当会からは麦野英順代表幹事、稲田祐治常任幹事、有藤直樹事務局長の3名が出席した。

冒頭、開会挨拶と問題提起を静岡経済同友会東部協議会の佐藤宗徳代表幹事が行い、その後三島市長の豊岡武士氏が来賓の挨拶をした。

続く基調講演では東急(株)の森田創氏が講師を務め、スマートフォンの予約、決済で一定エリアの交通機関が乗り放題になるデジタルフリーパス「MaaS(マース)」と地域活性化をテーマに語った。同社は観光施設や飲食店と組み合わせた「観光型MaaS」の実証実験を伊豆エリアで2019年4月から2021年3月の間に3回実施、道が狭い場合は乗合タクシーを活用するなど地域に合わせたサービスに注力した。

また、テレワークが普及する中、通信環境を整えた車内で仕事しながら移動できる高速バスなど新たなサービスについても紹介。働き方の変化により「職・住・遊の垣根がなくなってい

る」と指摘し、「スマホで生活を完結させる人が多くなる。マースを起爆剤に地域活性化へつながれば」と述べた。

その後、各地同友会の発表が行われ、当会は麦野代表幹事が創立60周年記念事業、SDGs宣言、昨年度の提言



麦野代表幹事と稲田常任幹事

活動や地域創生委員会のフィールドワークなどを説明した。また、基調講演の関連として、今年3月に富山でスタートしたトヨタ自動車系の交通アプリ「マイルート」とJR西日本が北陸3県をエリアとして今年12月から観光型MaaSの実証実験をスタートさせる2つの事例を紹介した。



懇親会では静岡経済同友会東部協議会の佐藤代表幹事が開会の挨拶をし、当会(前回開催地)の麦野代表幹事の発声により乾杯した。最後に次回開催地となる福井経済同友会の林正博代表幹事が閉会の挨拶を行った。



佐藤宗徳代表幹事



豊岡武士市長



講師 森田創氏

# 第8回 5 経済同友会教育担当委員会 交流会

## オンライン開催

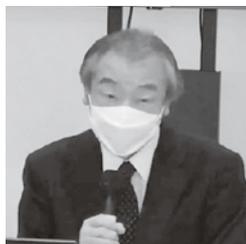
9月9日(木)、「第8回5 経済同友会教育担当委員会交流会」が新潟経済同友会主管で「地方におけるこれからの人財育成と産学官の連携について」をテーマに開催された。本交流会は富山、群馬、新潟、栃木県、中部の5 経済同友会の教育問題を担当する委員会が、意見交換を通じて連携と交流を深めることを目的に平成25年度より開催しているが、昨年度はコロナ禍の影響で延期となり、今年度はオンライン形式での開催となった。当会からは教育問題委員会の高瀬幸忠委員長はじめ委員12名、教育現場から県立高等学校の教諭4名が参加した。

オープニングでは新潟同友会阿部尚義教育問題委員会委員長、山本善政筆頭代表幹事より開会挨拶があり、阿部委員長は「5年・10年先の地方の発展や子供の成長に対し、経済界はどのように教育界と接点を持つべきか考えていきたい」と述べ、山本筆頭代表幹事は「信条として、人財育成はあらゆる業務に優先すると考えている。産学官が連携し、地方でのよりよい人財育成について議論を深めたい」と挨拶した。

次に、新潟大学創生学部  
の澤邊潤准教授より「新潟大学創生学部フィールドスタディーズについて」と題し、事例紹介があった。同学部では学生が早い段階から社会を見て、何を学ぶべきかを意識づけるため1年次から、新潟県内の自治体・民間企業と連携したフィールドスタディーズ(学外学修)を必修科目とするなど、魅力的かつ選ばれる教育の提供や、社会との対話による人財育成のエコシステム確立を目指して取り組んでいると紹介した。



新潟経済同友会  
阿部教育問題委員長



新潟経済同友会  
山本筆頭代表幹事



新潟大 澤邊准教授



パネルディスカッション

続いて、本交流会のテーマについて、澤邊准教授、新潟同友会特別幹事でNSGグループ会長の池田弘氏、教育問題委員で㈱広報しえん代表取締役の西嶋弘重氏をパネリスト、阿部委員長をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われた。澤邊准教授は、若年層人口の減少が都市部より早く進行する中、地方の高等教育機関の存在意義が問われているとし



池田 弘氏



西嶋 弘重氏

「生徒、保護者、社会に対し“ここで学ぶ”ことのメリット・価値を如何にPRできるかが重要」と語った。池田氏は経済人としての関わりとして、自社の魅力を高めていくことが必要とし「若い人に“この会社でなら、この社長となら(働いてみたい)”と思ってもらうことが重要である」と語った。西嶋氏は魅力ある会社づくりと社内改革・体制づくりが求められているとし「各社が人財採用を最重要課題と位置付け、全方位的な活動ができるか、“採用力の向上”が不可欠である」と訴えた。

最後に、新潟同友会吉田至夫代表幹事より「オンライン形式ではあったが内容の濃い議論ができたと思う。来年度は、リアルで交流ができることを願っている」と挨拶し閉会となった。



新潟経済同友会  
吉田代表幹事

(令和4年度は栃木県経済同友会が主管)

# 工芸の魅力 —ものづくりの町で—

## 第2回文化スポーツ委員会

第2回文化スポーツ委員会(鳥田好美委員長)が10月19日(火)に開催され、高岡市金屋町や勝興寺などを訪問し、委員22名が参加した。

はじめに、2グループに分かれて、伝統工芸の工房見学、高岡市金屋町の散策を行った。

シマタニ昇龍工房では、4代目の鳥谷好徳さんに、「鑿子」の伝統的な製造技術や新ブランド立ち上げについてお話を



シマタニ昇龍工房にて

伺った。「金鋸で叩く」ことにより、板を絞る、丸みを整え、音を調律する。手打ち鍛造による伝統技法は、一子相伝により守り続けられてきた。新ブランド「すずがみ」は、その匠の技から生まれた製品で、伝統の技術を守りながら新しいものに挑戦することが、若手職人の育成にもつながっていると説明。参加者一同、鑿子の心癒されるおだやかな響きにじっと聞き入り、その豊かな音色に心洗われる一時となった。

金屋町では、まず、高岡市鑄物資料館を訪問。400年にわたる鑄物産業の歴史、



金屋町にて

多種多様な造型・鑄造用具や初期の鑄造技術などについてお話を伺った。その後、観光ボランティアガイドの般若さんから、石畳通りや千本格子の町屋の造りなどの説明を聞きながら、大寺幸八郎商店を訪問し、店主の大寺雅子さん、康太さんの案内で、重厚な梁、吹き抜け、天窗の趣ある建物、茶室を望む日本庭園などを見学。高岡鑄物発祥の地である金屋町についてお話を伺い、国の重要伝統的建造物群保存地区である

歴史的町並みの魅力を再認識した。

昼食後、勝興寺へ移動し、公益財団法人勝興寺文化財保存・活用事業団の高田克宏専務理事から、23年にも及ぶ大規模な保存修理、壮麗な伽藍が蘇った勝興寺の魅力についてお話を伺った。



勝興寺本堂にて

「平成の大修理」は本堂を半解体修理する第1期工事が1998年に始まり、2005年からの第2期工事では、本坊、総門、唐門、式台門など11棟の修理が行われた。修理は江戸時代後期の姿に復原することを基本方針として実施され、2020年度に完工。各建造物の損傷具合に応じた修理内容の説明とともに、寺所蔵の重要文化財「洛中洛外図屏風」についても解説いただいた。

さらに、勝興寺で開催されていた「GO FOR KOGEI 2021」特別展を観覧。実行委員会主管の認定NPO法人趣都金澤の



GO FOR KOGEI 特別展にて

浦淳理事長らに解説いただきながら、文化財空間に呼応した創造的な展示作品を鑑賞した。

ものづくりのまち高岡で、伝統工芸と現代アート化する工芸、工芸的な美しさや工芸の新たな価値に触れ、知見を深める貴重な機会となった。

## 富山の未来を拓く「ウェルビーイング」「データサイエンス」

## ～ 第2回地域創生委員会 ～

第2回地域創生委員会（山本覚委員長）が10月4日(月)、オークスカナルパークホテル富山にて講演会・座談会の2部構成で開催され、委員ら75名が出席した。

## 第1部 講演会

講師：藤井宏一郎氏（マカイラ㈱代表取締役CEO、）  
（富山県成長戦略会議メンバー）

藤井氏より「富山県成長戦略会議中間報告 Wellbeing TOYAMA -案-」と題し講演いただいた。講演の中で藤井氏は、富山に「あるもの」、富山が本来もつ豊かさのすべてを活用しウェルビーイング（実感としての満足度、真の幸せ）を引き上げることで、新しい産業を切り拓く新しい「人」を育て、誘致することこそ新しい時代の成長戦略であるとし、産学官連携やデジタル化などによるまちづくりやブランディング、スタートアップ支援などの各戦略を推進し人材を集積・育成することの必要性を強調した。また、政府の成長戦略との整合を念頭に今後、経済的・身体的・主観的（幸せ）観点でのKPI（重要業績評価指標）を設定し、取り組みを着実に進めていくことが重要であると訴えた。



山本委員長

講師 藤井宏一郎氏

## 第2部 座談会

〈パネリスト〉

東出悦子氏（㈱アイパック代表取締役、当委員会副委員長）

長谷川健吾氏（GRN ㈱事業戦略部）

堀田裕弘氏（富山大学都市デザイン学部教授）

唐渡広志氏（同経済学部教授）

〈進行役〉

金山義男氏（同経済学部データサイエンス寄附講座客員教授）

第2部として、富山大学データサイエンス寄附講座をテーマとした座談会を開催した。

企業が寄附講座に参画するメリットとして東出

氏は、新規事業の創造だけでなく社員教育に対する効果を挙げ「社員の知識力向上や意識改革につながっている。大学教官とのつながりや学生との交流も大きな効果がある」と強調した。長谷川氏は、不確実性が増すビジネス環境下では問題をよりの確に捉え、その解決にデータを分析・活用していくことが増々重要であるとして「我々の事業に対する学生の関心は高い。寄附講座を通じ新しい視点や学生の感性に触れることで、新たな価値の創出や社内での意思決定迅速化など幅広い効果が期待できる」と語った。



パネリスト：(左) 唐渡氏 (右) 長谷川氏



パネリスト：(左) 東出氏 (右) 堀田氏

富山のさらなる発展に向けたキーワードである「ウェルビーイング」「データサイエンス」をテーマとした内容であり、委員らは熱心に聴き入るとともに多数の質問・意見が出されるなど充実したものとなった。



熱心に質問・意見提示

# “新たな気づき”10班に分かれて「フィールドワーク」

## ～ 第3回地域創生委員会 ～

第3回地域創生委員会（山本党委員長）が10月15日（金）開催され、委員ら39名が出席した。

今回は昨年度、半日にて実施し大好評だったフィールドワークを1日に拡大し、10班に分かれて県内各地を巡った。プランは委員から公募し、寄せられた23件もの応募から選抜し実施した。

各班は富山駅を出発地点とし、それぞれ「食べる・飲む」「観る」「触れる・体験する」など

を通じ、地域の魅力や課題などを調査した。

今回はコロナ禍の影響で報告会（懇親会）は開催できなかったが、参加者からは「公共交通を利用して旅することで色々と気付くことができた」「富山に魅力的な場所がたくさんあることを再認識した」、「親睦を深めることができた」など、新たな気づきや再発見、会員同士の交流促進などの感想が多数寄せられ、大変充実したフィールドワークとなった。

### <フィールドワーク 実施行程>

#### 1 氷見市内〈1組〉

富山駅                        

### 3 城端・井波方面〈1組〉

富山駅    〈あいの風とやま鉄道・JR 城端線・徒歩〉 城端別院善徳寺・城端曳山会館・じょうはな織館  〈タクシー〉 昼食：薪の音（南砺市）  〈タクシー〉 トレヴォー・城端ビール    〈タクシー・JR 城端線・あいの風とやま鉄道〉 ゴール（オックスカナルパークホテル富山）



参加者の感想

とにかく楽しかった。遠足の小学生の気分でした  
地域の歴史や地域で熱い想いで取り組まれている皆様のお話を伺い、大変有意義な時間でした

### 4 城端・井波方面〈2組〉

富山駅    〈あいの風とやま鉄道・加越能バス・徒歩〉 瑞龍寺    〈徒歩・加越能バス・JR 城端線〉 昼食：かねしま（南砺市）  〈徒歩〉 城端別院善徳寺・曳山会館・松井織業・じょうはな織館・田村萬盛堂・瑞泉寺    〈徒歩・加越能バス・あいの風とやま鉄道〉 ゴール（オックスカナルパークホテル富山）

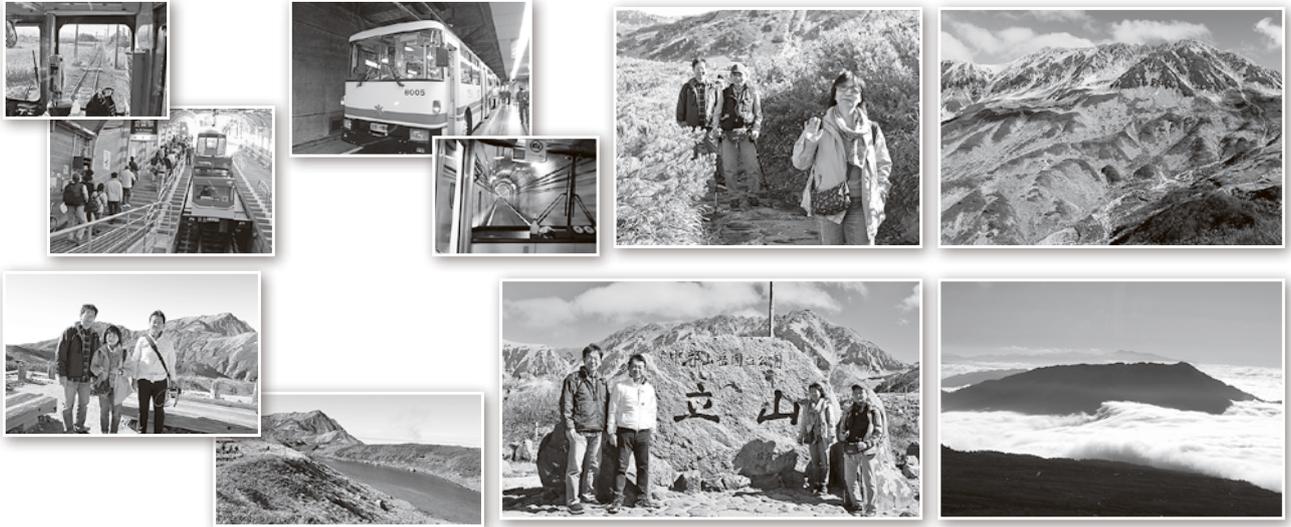


参加者の感想

こういうフィールドワークは、1日遠足を県外の人に紹介するために大変良いと思う  
見学地のすばらしさに加えて、メンバーの皆様との車中の会話も楽しむことができて良かった

## 5 立山

**電鉄富山駅**     〈地鉄電車・立山ケーブルカー・立山高原バス・徒歩〉 **みくりが池展望台**  
 〈徒歩〉 **昼食：レストラン立山（立山ホテル内）**  〈徒歩〉 **みくりが池温泉・血の池・立  
 山玉殿の湧水など**     〈徒歩・立山高原バス・立山ケーブルカー・地鉄電車〉 **ゴール（オクス  
 カナルパークホテル富山）**



参加者  
の感想

地元の方ならではの企画・楽しみ方を満喫させていただきました  
公共交通を利用して、夕方までに世界に誇れる大自然を満喫できた

## 6 射水市内

**富山駅**   〈あいの風とやま鉄道・射水市コミュニティバス〉 **内川散策その1（神楽橋・専念寺など）**  
 〈徒歩〉 **新湊観光船**  〈徒歩〉 **内川散策その2（山王橋・法生津八幡宮など）**  〈徒歩〉  
**昼食：新湊きつときと市場（昼セリ見学・昼食）**  〈徒歩〉 **海王丸パーク**    〈万葉線・  
 あいの風とやま鉄道・徒歩〉 **富岩運河環水公園**  〈徒歩〉 **ゴール（オクスカナルパークホテル富山）**



参加者  
の感想

楽しかったです。県外の方にもオススメしたいです  
天気もよく終日、会員の皆さんと懇親でき、企画としても催しとしても素晴らしい

## 7 高岡市内

富山駅   .....  〈あいの風とやま鉄道・JR氷見線・徒歩〉 勝興寺 .....   〈徒歩・JR氷見線〉 昼食：  
 昆布締め CRAFTAN (高岡市) .....  〈徒歩〉 モメントムファクトリー Orii  〈タクシー〉  
 高岡御車山会館・高岡大仏 .....   〈徒歩・あいの風とやま鉄道〉 ゴール (オックスカナルパークホテル富山)



参加者  
の感想

1日は長すぎと思っていたが、いざ体験してみると時間が足りないくらいで楽しかった  
 工芸は体験価値が高く、修学旅行のコンテンツとしてもっと活用できないか

## 8 県西部〈1組〉

富山駅   ..... 〈あいの風とやま鉄道・万葉線〉 海王丸パーク   ..... 〈万葉線・徒歩〉 昼食：鮨金  
 (高岡市) .....  〈徒歩〉 高岡大仏 .....   ..... 〈徒歩・JR城端線〉 若鶴酒造   ..... 〈JR城端線・あいの風  
 とやま鉄道〉 ゴール (オックスカナルパークホテル富山)

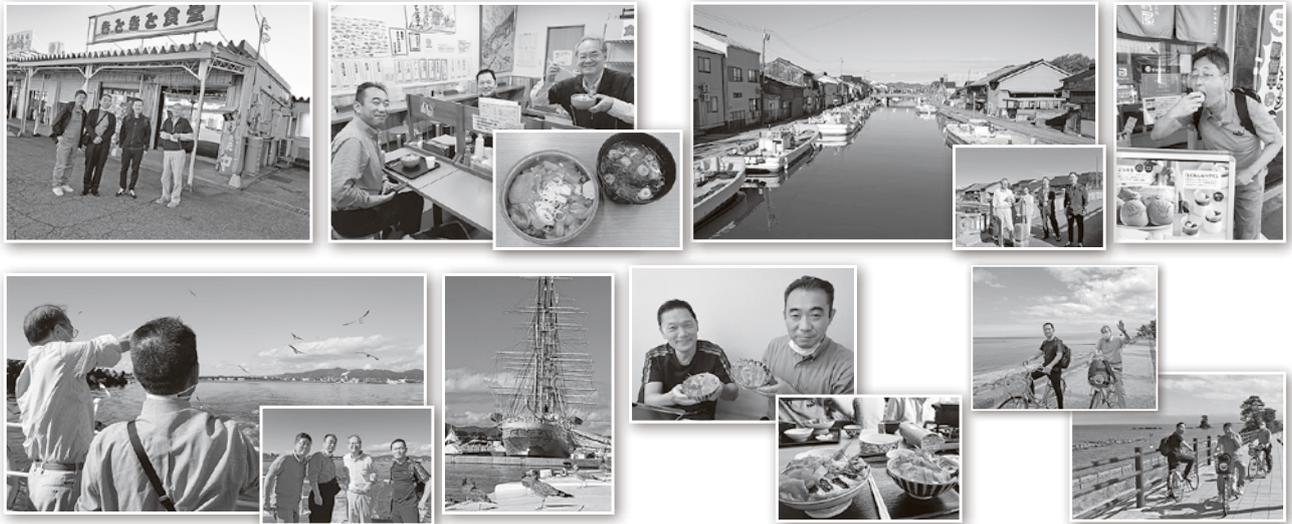


参加者  
の感想

車に乗らず電車や歩くことで、見過ごしてきた景色や色々な事を思い感じることができ、とても  
 よかった  
 富山に長年住んでいても、案外知らない場所は沢山ある。参加することで地域の魅力を改めて発  
 見できた

9 県西部〈2組〉

富山駅  〈あいの風とやま鉄道・タクシー〉 新湊きつときと市場（朝食）  〈徒歩〉 内川散策  〈徒歩〉 川の駅新湊（観光遊覧船乗船）    〈徒歩・万葉線・JR氷見線〉 雨晴駅（自転車レンタル）  〈自転車〉 昼食：氷見漁港魚市場食堂  〈自転車〉 ひみ番屋街   〈ぶりにかにバス・徒歩〉 ゴール（オックスカナルパークホテル富山）



参加者の感想

自らが感じたことを自らの言葉で発信し、富山の魅力を伝えたい  
日本のベニス内川。運河沿いは潜在能力が高いと感じた

10 県東部

富山駅  〈富山地铁市内電車〉 富山市ガラス美術館   〈富山地铁市内電車・あいの風とやま鉄道〉 魚津駅  〈徒歩〉 昼食：四季料理 悠（魚津市）   〈地铁電車・徒歩〉 セレネ美術館・電気記念館・新山彦橋  〈徒歩〉 宇奈月温泉総湯  〈地铁電車〉 うなづき友学館・宇奈月麦酒館  〈北陸新幹線〉 ゴール（オックスカナルパークホテル富山）



参加者の感想

同友会の継続事業としてほしい  
是非続けるべきです。富山を発信しましょう！



# 起業しやすい土壌をつくろう

## ～ 第2回人財活躍委員会 ～

10月13日(水)第2回人財活躍委員会(中澤宏委員長)をオークスカナルパークホテル富山で開催し、オンライン参加を含め31名の委員が出席した。

中澤委員長からの挨拶があった後、今年度の起業家支援事業「スケッチオーデション」について担当の村上副委員長から報告があった。前年度の開催内容や反省点を踏まえ、今年度はビジネスプランコンテスト単体の開催ではなく、参加者を育成するプログラム内容で実施することを説明し、当事業を通して富山県に起業しやすい土壌を作りたい、と意気込みを語った。

次に、スケッチオーデションを総合プロデューサーいただく、関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 教授 富田欣和氏を講師に招き、「VUCA時代に必要なイノベティブ思考法～いま、求められる価値創出の考え方とやり方



中澤委員長

～」と題し、オンラインにて講演を実施した。富田氏は、現代において課題を解決する方法は広く存在しており、必要なのは解くべき課題を発見できる力・人材であると説明したうえで、イノベーターになるには課題発見者になる必要があると訴えた。

続けて、多様性はイノベーションの価値を高めると説明したうえで、多様性を引き出すためにはチームビルディングが重要であり、コミュニケーション量を増やすことが効果的であると語った。

その後、活発な質疑、意見交換もなされ、参加した各委員にとって知見を深める貴重な機会となり、11月から始まるスケッチオーデションへの期待が高まるなか、委員会は盛会のうちに終了した。



# 失敗しないM&Aとは

## — 第5回企業経営委員会 —

第5回企業経営委員会(伊勢徹委員長)が10月21日(木)、オークスカナルパークホテル富山で開催され、株式会社ナレッジラボ 代表取締役 CEO 国見英嗣氏が「事業の持続可能性を高めるM&Aという選択肢」と題して講演を行い、Zoom参加者を含め48名の委員が出席した。

国見氏はまず、中小企業のM&Aを取り巻く現状をデータから説明。売り手企業のきっかけは「従業員の雇用維持」「後継者不足」といった事業承継目的が多いが、「事業の成長・発展」のため、成長戦略としてM&Aで連携する形も増加していると紹介した。

そして、M&Aの7割以上が失敗に終わると言われているが、それは準備段階での戦略や検討が足りないケースが多く、「事業領域は重なっているか」「相手をどれくらい知っているか」「お互いの強みと弱みを補完する形が作れるか」

について、1～2年程度かけてしっかり検討することが必要であるとした。

さらに、M&A成功のためには、成立後の統合プロセスである「ポストマージャーインテグレーション

(PMI)」が重要であり、そのポイントとして「経営メンバーの交代は急がない」「双方の熱が高まっている最初の1年間で新しい関係構築を図る」「経営者が主導し組織を緩やかにつなげていく」ことを挙げた。

最後に、M&A当事者としての経験を踏まえ、「①5～6年かけるつもりで取り組むこと、②外部アドバイザーに任せきりにせず相手は自分で選ぶこと、③売り手経営陣が双方の企業に橋をかけ点と点をつないでいくこと、により成功率を高めることができる」と講演を締めくくった。



国見講師





# 課外授業講師派遣

## — Highschool Edition —

### 第8回 富山県立雄峰高等学校

令和3年9月15日(水)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長が富山県立雄峰高等学校において、3学年112名を前に翌日(9/16)より始まる就職活動に向けた講演会として「よりよく生きる」をテーマに課外授業を行った。

牧田社長はまず、自身の大学進学や就職、事業承継の経緯などにおいて、自身の希望どおりにならなかったエピソードを紹介し「事業を継いだ際は「逃げたい」と思ったが、当然それはできない。そこで“やるしかない”と気持ちを切り替えて取り組んできたことによって成果を挙げることができた。“良い意味での開き直り”をしっかりと持つことが大事」と強調した。

次に、自分の過去は変えられないが未来は変えられるとして「未来を変えるためには努力が必要。今からでも決して遅くなく、未来に何を頑張るかを見定めることが大切である」と説いた。続けて、社会に出て人と人がつながるため

の道具は言葉であり、国語の学習が重要であると訴えた。

最後に、働き方として将来にわたりアルバイトのみとするのではなく、正社員として仕事をするのがより生きやすいとし「正社員となるには同年代での競争がある。その中で、これから未来をどう創っていくか、これから何をしていくかを考えることが求められる。周りには観ている、努力をした分だけ報酬や評価として還ってくる。皆さんには時間がある、未来がある。これを目一杯活用し立派な大人になってほしい」と熱いエールを送り、講義を締めくくった。



「未来をどう創っていくかを考えることが重要」と牧田社長

### 第9回 富山県立魚津高等学校

令和3年9月25日(土)、大橋聡司氏(大高建設)取締役社長が富山県立魚津高等学校において、1学年160名を対象に「働くこと 学ぶこと 生きること」をテーマに課外授業を行った。

大橋社長はまず、自己紹介を兼ねて建設業以外の事業にも取り組んでいることを紹介し「分からないながらも一生懸命に取り組むチャレンジすることが自己成長につながった」と語った。続けて、自社に今年度、外国人の新入社員が3名入社し、それぞれが努力して英語や日本語を習得したことを紹介し「みなさんが社会へ出る頃にはダイバシティ(多様性)は当たり前になり英語のスキルは必須となる。様々な機会を積極的に活用し勉強してほしい」と訴えた。

次に、東京五輪を契機に日本人の持つ非認知能力(礼儀正しさ、時間の正確性、おもてなしの心など)が世界中で改めて評価されていると

し「AI時代にまさに必要な資質である。これらを伸ばし、世界で活躍できるよう成長してほしい」と説いた。

また「働」という文字から、働くとは“人が動く”こと、そして“傍楽(周囲の人を楽にする、楽しませる)”こと、よりよく働く力は①経験する力、②経験から学ぶ力、③経験を注ぎ活かす力、④人と協働する力、⑤現実に対峙する力であること、よりよく生きるためには①多・長・根(多面的、長期的、根本的)な視点、②感謝の心が重要であるとし「これからの人生でも、新しいことにチャレンジしてほしい」とエールを送り、講義を締めくくった。



「成長のためには積極的にチャレンジすることが重要」と大橋社長

### 第11回 富山第一高等学校

令和3年10月7日(木)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長が富山第一高等学校において、2学年387名を対象に「よりよく生きる」と題し課外授業を行った。

牧田社長はまず、AI(人工知能)は多数のデータを基に統計処理により答えを導き出す、日々の生活は正解のない決断の連続であるとし、「よりよく生きるとは、よりよい決断をすること」と語りかけた。続けて、よりよく判断するためには勘や直感で決めるしかないとし「これらの潜在的洞察力は、これまでの経験などの蓄積、すなわち智慧が元となる。学校での日々の学習はまさにこの源であり大変重要」と訴えた。

次に、知恵を形成する際に必要となる情報には静的情報(本・ネットなど：一方向)と動的情報(会話、セミナーなど：双方向)があり、このうち動的情報は人から学ぶものであるとし

「動的情報は人脈を築くことにより形成される。人と人との間に存在する“心(意識)”を大切にすることが必要」と説いた。

さらに、人と人との間の心の変化として「興味→好意→共感→信頼→尊敬」の順に深くなっていくとし「これらのベースにあるものは思いやり。思いやりのある人が良好な人脈を築くことができる」と強調した。

最後に「相手の話をよく聞くことが思いやりの第一歩。これらを意識しよりよい人生を送れるよう努力してほしい」とアドバイスし、講演を締めくくった。



「わがままを抑え思いやりの心を育てることで、友達が増え決断の精度が上がる」と牧田社長

## 第12回 富山県立小杉高等学校

令和3年10月13日(水)、山野昌道氏(株チューリップテレビ取締役社長)が富山県立小杉高等学校において、1学年160名を前に「企業が求める人物像、3つのポイント」をテーマに課外授業を行った。

山野社長ははじめに、なぜ働くのかと問いかけ「社会はみんながつくるものであり、働くとはその中で一人一人が何らかの役割を担うこと」と語りかけた。続けて、大学時代はアナウンサー志望だった自身の経験から「自分の夢を持った方がよいが夢や考え方は変化していく。夢を具体的に描けなくとも“自分は何に向いているのか”を考え、実現に向けた目標を持つことは必要。日々考え、行動し続け1日1日を一生懸命生きることが重要」と説いた。

次に、これからの時代にはプロフェッショナルであること、共助の精神、人間でなければできないこと(真面目さ、外向性、協調性など)の重要性がさらに高まり、企業を取り巻く環境

としてチームで動くことや、先行きの不透明さ、社会で役に立たないと生きられない状況がより顕著になるとし「公的機関も同様だが、これからの時代に企業が求める人物像は①チームプレーのできる人、②未来を切り開ける人、③正しい倫理観を持った人であり、必要な資質は誠実・熱意・行動力である」と訴えた。

最後に、人生を楽しくする3つのコツとして①迷ったら「やる」、②人のせいにならない、③ポジティブ・シンキング、を挙げ「人生は選択の連続、どちらが正しいかは一生分からない。選んだ方が正しいとし、未来に向かって1日1日を積み重ねよう」とエールを送った。



「成功した人は必ず努力している」と山野社長

## — Junior Highschool Edition —

## 第10回 入善町立入善中学校

令和3年9月29日(水)、牧田和樹氏(株牧田組取締役社長)が入善町立入善中学校において、2学年102名を前に翌日から実施する「社会に学ぶ14歳の挑戦」に向けた講演会として「働くこと」をテーマに課外授業を行った。

牧田社長はまず「世の中でこれが無いと生きていけないものは」と問いかけ「お金」と答えた生徒を称賛した上で、我々はお金を媒体とした経済の中で生きており、お金は重要であると説いた。続けて、結果は同じでもお金のために働くのと、働いた結果としてお金をもらうのでは意識が大きく違うこと、働くこととお金の流れ(社員は働いて商品やサービスを作り出し、お店は商品・サービスをお客へ提供する。お客は代金を支払い、これが給料を支払う元となる)を示し「この流れは全て繋がっている。働いた成果は代金を頂くことであり“がんばって働く”ことが重要。社会に学ぶ14歳の挑戦では、どのようにしてお店はお客からお金をもらっている

か、よく見てきてほしい」と語りかけた。

次に、仕事のスキル上達には努力が必要であり、努力した分だけ必ず結果が出るとし「一生懸命働くことで成長し、人生をより豊かにできる。働くことは①生きていくためのお金を得ること、②自身の成長を図ること」と訴えた。

最後に、学校へ行っている期間は働き始めるまでの準備期間であること、働く上では相手を理解する力が求められ、これに必要な知識を養うのは日々の学習の積み重ねであるとし、努力は決して裏切らない。一生懸命努力し成長してほしい」とエールを送り、講演を締めくくった。



「相手を理解する力を養うのは学校での勉強“そのもの”」と牧田社長

## 第14回 高岡市立高岡西部中学校

令和3年10月28日(木)、村尾于尹氏(株村尾地研取締役会長)が高岡市立高岡西部中学校において、2学年113名を対象に「君たちに期待する」と題し課外授業を行った。

村尾会長はまず、中国を訪問した際のエピソードとして、高額な代金を払いパンダと写真撮影した際「一生のうちにパンダと撮影できる機会はそうは無い」と勧めてくれた先輩の言葉や代金が研究費などに充当されると知ったことを紹介し、まずやってみることの重要性を説いた。続けて、中学2年の時に職員室へ呼び出され、高校受験に失敗した方の名前が記載された黒板の前で、「君の名前も書かれないか?」と言われたことを披露し「これを機に、1年生の教科書から勉強し直した。勉強に一生懸命取り組むことはとても大事である」と訴えた。

次に、赤痢菌の発見等により文化勲章を受章した医学者・志賀潔が、こよりで補修した眼鏡をかけ

ている写真を提示し「志賀は普段から飾らず、写真も普段のままを撮る人だったという。見た目だけで物事を判断してはいけない」と説いた。

また、鷹の目・蟻の目(視点)を例に「スマホ・タブレットはいわゆる蟻の目。鷹の目から見ると、物事の全体像など様々なことがわかる。一段高い視点で物事を見る習慣や見通す力を養い、知力を磨いてほしい」とアドバイスした。

最後に、身体・頭・心を鍛えることが大変重要であるとし「鍛錬を通じ肉体的、精神的に発達すること、この蓄積が生きていく土台となる。日々、研鑽を積み上げよう」とエールを送り、講演を締めくくった。



「叩かれる(=鍛える)ことを嫌がらない心を持とう」と村尾会長

## 第13回 高岡市立志貴野中学校

令和3年10月27日(水)、在田吉宏氏(株アリア取締役社長)、神崎直志氏(三井物産(株)理事・北陸支社長)、張田真氏(ハリタ金属(株)代表取締役)、山野昌道氏(株チューリップテレビ取締役社長)が高岡市立志貴野中学校において、2学年を対象に各クラスで課外授業を行った。

### <2年1組> 在田吉宏氏

「将来のために、今やるべきこと～誰かの創造と行動が未来を作る～」

在田社長はまず、商社勤務時代に海外に駐在した経歴を紹介。世界はチャンスと可能性で満ちており、どう活かすかは自分次第とし「知らない世界の方がはるかに大きい。柔軟な発想で自分の世界を広げることで、将来活躍できる場が広がる」と強調した。また「一方で、自分の世界しか見えていないということ。見えている世界を突き詰め如何に広げるかが大事」と説いた。

さらに、機会を頂くことは期待されている証であること、外国人の友人との交流で世界が広がったことを紹介し「広く浅い世界から深く関わりたいと感じ、考える機会を得た。何か機会を見つけ、失敗を恐れず自分で体験し自分のこととして捉えるよう取り組んでほしい」と訴えた。また「よりよく楽しく生きるには、自分の考えや判断基準をつくり行動することが重要。いろんな情報を吸収し考える力を養ってほしい。世の中は、みなさんが創造したとおりに作られるし、変わる」と語りかけた。

最後に「様々なことをイメージし、これからの世の中を広げてほしい、みなさんが主役」「興味をもって世界を広げることが、将来のチャレンジの機会につながる。自身や家族が幸せになるよう、考えながら深掘りしてほしい」とメッセージを送った。



### <2年2組> 神崎直志氏

「あなたはなぜ働くのですか？なぜ勉強するのですか？」

神崎支社長ははじめに、働く理由について、生きるためにはお金が必要だがお金を目的として働くことと楽しさや自己成長は見込めないとし、「人口減少時代で一人一人の価値が上がっている。これからの時代は機械にはできない想像力を発揮する仕事を選ぶことが重要」と説いた。

次に、目指すべきは“価値ある仕事ができるか産みだせるか”であるとし「自ら打ち込める、好きな仕事をやればよいと思っている。そのためにはまず、自分は何が好きかを考えてほしい」と訴えた。続けて、魚が好きだった後輩社員が養殖事業に従事する中で、その仕事を一生続けたいとして退職したエピソードを紹介し「なりたい自分を見つけるために、好きなことを自分で見つけることが大事」とし、その為には、読書や先輩・友人などを通じ情報を集める必要があると説いた。

最後に、なぜ勉強するのかについて「今の自分と、なりたい自分のギャップを埋めるのが勉強。学校での勉強は大人になった際に役立つ重要なこと」とし「勉強は自分のためにするもの。自分のためであれば、やらされる辛いものではなくはず」と訴えた。「皆さんには無限の可能性がある。自分の可能性を信じ、努力しよう」とエールを送り、講演を締めくくった。



### <2年3組> 山野昌道氏

「人生を幸せにする3つのコツ」

山野社長ははじめに、なぜ働くのかと問いかけ「社会はみんなで作るもの。学生と社会人の違いは、社会をつくる一員になるかどうかである」と語った。続けて、大学時代はアナウンサー志望だった自身の経歴を紹介し「やりたいことや夢は持った方がよいが、これらは変化していく。自分は何に向いているのかを考え、見つけることが必要。そのためには考え行動し続け、1日1日を一生懸命生きることが重要」と説いた。

次に、自身の経験を基に仕事のやりがいについて、「やりがいのある仕事は辛く、厳しいことが多い。苦勞のないところにやりがいはなく、苦勞がない人生に感動や感激はない」と強調した。さらに「苦勞が大きくなるにつれ、やりがいが大きくなると思っていたがそうではなく、努力して何かを達成するとその瞬間、苦勞はやりがいに変わる。やりがいは自分でつくるもの、努力した人がみな成功しているわけではないが、成功した人はみな努力している」と訴えた。

最後に、これからの人生を幸せにする3つのコツとして①迷ったら「やる」、②人のせいにならない、③何をやってもうまくいくと考える、を挙げ「人生は選択の連続、どちらが正しいかは一生分からない。選んだ方を正解とし、未来に向かって命努力しよう」とエールを送った。



### <2年4組> 張田真氏

「社会人と考える自分の「生き方」」

張田代表はまず、テストでは式と答えが初めから設定されているため簡単だが、人生は式も答えも自分で考える必要があり、その組み合わせは無限にあるとし「自分で式を立て答えを導くことが、生き方を考えるということ。そのためには学びが必要である」と説いた。続けて、人の幸せにルールはないがパターンはあるとし「人間は、他人の幸せに関わるといふ生き方に幸福感を感じるもの」と強調した。

次に、人間の遺伝子レベルでは“変化は危険”と判断すること、人間は自らの力では変わらないとした上で「“なぜ”を少しでも理解できれば勉強の動機を見つけられ、学びに対する感覚を変えられる」と訴えた。さらに、学びはよりよく生きるための手段であるとし、「なぜ学ぶのか、自分の夢や目的を考えよう。夢や目的を持ち、勉強(イヤイヤ)を、学び(ワクワク)に変えていこう」と語りかけた。

最後に、自分の現在地と夢・目的の点検に使える3つの言葉として、やりたいこと、できること、すべきこと、を挙げ「やりたいことが先行しがちだが、当てはめれば本当にすべきことが見えてくるし、この3つが揃うと人生の充実感が高まる。足元の小さな幸せを気づく力、感じる力を磨いてほしい」とエールを送り、講演を締めくくった。



## 慶事のお知らせ

### おめでとうございます

2021年度富山県功労表彰において、当会会員が晴れの栄誉を受けられました。心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

#### 県功労表彰



志鷹 新樹 氏

丸新志鷹建設(株)  
取締役社長



牧田 和樹 氏

(株)牧田組  
取締役社長



森 雅志 氏

(株)富山市民プラザ  
取締役会長

## J2 復帰を祈って、熱い応援！ — 「同友会の日」カターレ富山戦 —

10月30日(土)、文化スポーツ委員会（島田好美委員長）は地元プロスポーツチームを応援する「同友会の日」を開催し、富山県総合運動公園陸上競技場でカターレ富山対 Y.S.C.C. 横浜の試合を観戦した。

当日は爽やかな秋晴れのもと、麦野代表幹事をはじめ、会員や会員企業の従業員・ご家族など約100名が集まった。

カターレは、J2 復帰に向け、ホームで確実に勝利し、再び勢いに乗りたいところ。必勝で臨んだ試合は開始から激しく競り合い、互いにチャンスを作りながらも決めきれない展開が続き、両チーム無得点で前半を折り返した。

互いに決定機がなく、一進一退の攻防が続く中、後半16分、カターレは球際で競り負けてカウンターから先制点を許してしまう。その後、1点を追いかけるカターレは選手を入れ替えて何度もゴールに迫るが、最後まで得点を奪えず、今シーズン初の連敗を喫した。

J2 昇格争いが大詰めを迎える中、カターレの勝利を願い、同友会応援席からも熱い応援を送り続けたが、痛恨の連敗となり、3位から4位に順位を落としました。

今シーズンは残り5試合となり、負けられない試合が続くカターレ。悲願のJ2 復帰へ向けて、今後の勝利に期待したい。

今回の「同友会の日」は、富山グラウジーズを観戦予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。





## 花屋に生まれて

辻 井 益 雄

(株式会社富花 取締役会長)

富山市荒町に戦後まもなく生まれました。父は八町の農家で昭和元年に荒町にやってきました。生花業と華道家として、富山県の16の流派をまとめ、富山県華道連合会を設立し、理事長として長年頑張ってきました。母は東京の神楽坂からお嫁にきました。先祖は徳川家康と一緒に江戸にきた家臣徳川十六神将の一人で高木清秀だと話していました。家紋は「高木鷹の二羽」が有名です。

そろそろ自分のことに話を戻します。私は四人兄妹の三男として生まれ、長兄と二人で家業を継ぎました。高校を卒業して東京の日本橋の宮内庁御用達「花慶商店」へ2年間奉公しました。その間、四谷の東京フラワーアカデミーへ週5日2時間を半年間通いました。当時はまだ、フラワーデザインが流行る前でしたが、これから商売に必要だと花慶商店の社長の奥さんに勧められて通いました。2年間の奉公が終了し富山へ帰省しましたが、帰省後すぐに京都の池坊華道専門学校へ父の勧めもあり通いました。その時、生け花とフラワーデザインを同時に学んだことで、それぞれの使い分けが微妙だと感じました。

京都から帰省後しばらくしてから、アメリカのシカゴにあるアメリカンスクールの1か月コースに入会しました。終了後、ロサンゼルスハリウッドの日系花店で実技的な勉強を1か月しました。合計2か月一人旅の生活をしていました。18歳から25歳までの7年間で花の基礎が出来上がったと自負しました。

帰省後、花キューピットの全国大会に参加し、自分のデザインした作品が1位になりました。初めてもらった大賞でした。さらに名鉄トヤマホテル（現ホテルグランテラス富山）・富山第一ホテル・ホテルニューオータニ高岡・ホテルアクア黒部・とやま自遊館等の多くのオープニ

ングの制作・披露をしました。ホテルの仕事では、パーティーや結婚式の花生けを多く手がけました。ホテルでの大きな仕事は全国知事会議、育樹祭、2000年とやま国体の天皇陛下の県庁特別室の昼食会と陸上競技場の皇太子殿下の昼食会での花生けです。ちなみに当時は、晩餐会が昼食会へと移行された時期でもありました。富山経済同友会の会報2017.3月のわが青春の1枚に投稿してもらいました。

昭和62年(1987年)7月に富山市中央卸売市場が開設され、花き部の株式会社富花として独立しました。同時に富山県花き仲卸組合長と当時全国中央市場花き仲卸組合の理事に就きました。平成22年(2010年)6月から一般社団法人全国花卸協会の会長に就任し、仲卸の目利き会や研修会を行い、農水省の全国花き振興協議会のメンバーとして東京オリンピックの花の件にも参加し、現在に至っております。

最後に自分は9月生まれですが、好きな花は一重咲きの風情がある黄色の野菊です。菊といえば、お葬式・仏壇に供えるイメージがあり嫌な感じがしますが、祝いの席に用いられる縁起の良いお花でもあります。また、アメリカやオランダでは、花屋はエンジニア（技術者）として認識されています。日本ではまだまだ認知されていませんがフラワーデザイナーとして多様なデザインを生け、たくさんのお客さまに喜んでいただけたことは大変に誇りに思っています。このように生き立ちを書かせていただいて、改めて自分は花を生けている時が一番楽しく、花が大好きで“花”とともに生きてきた人生だと思いました。自分は生きている限りこれからも花にかかわっていきたく思います。

( 次号は朝日建設(株) 取締役社長の  
林 和夫 様です。 )

# 活動報告

9月1日～10月31日

## ○幹事会・定例会等

開催日時・場所	内 容	出席者
10月11日(月) 16:30～18:30 ホテルニューオータニ 高岡	10月幹事会・会員定例会（人財活躍委員会主管） 講師：(公社)経済同友会 副代表幹事・地方創生委員長 (株)リコー 代表取締役 社長執行役員 CEO 山下 良則 氏 演題：「分散型社会の実現に向けた実践活動 ～地方創生テレワークや副業を通じた人材活用～」	約100名

## ○委員会

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
9月17日(金) 16:00～17:30 事務局会議室	地域創生委員会 第5回正副委員長会議	・フィールドワーク実施プランについて ・第2回委員会について	10名
9月30日(木) 11:00～12:00 オンライン開催	教育問題委員会 第3回正副委員長会議	・各グループ経過報告 ・委員会活動計画について 他	10名
10月4日(月) 11:30～13:00 事務局会議室	企業経営委員会 第8回正副委員長会議	・今後の活動スケジュール等について	8名
10月4日(月) 16:30～18:30 オークスカナル パークホテル富山	第2回地域創生委員会	・講演会「富山県成長戦略中間報告」 講師 藤井 宏一郎 氏 マカイラ(株)代表取締役 CEO 富山県成長戦略会議メンバー ・座談会「データサイエンス寄附講座 について」 <パネリスト> 東出 悦子 氏(株)アイパック代表取締役) 長谷川 健吾 氏 (GRN(株)事業戦略部 DA 推進課) 堀田 裕弘 氏 (富山大学都市デザイン学部教授) 唐渡 広志 氏(富山大学経済学部教授) <進行役> 金山 義男 氏(富山大学経済学部 データサイエンス寄附講座客員教授)	72名
10月6日(水) 13:00～14:30 事務局会議室	人財活躍委員会 第4回正副委員長会議	・各種アンケート結果について ・今年度のイベントについて ・(公社)経済同友会のワーケー ション受入れについて	10名
10月13日(水) 11:00～12:30 事務局会議室	文化スポーツ委員会 第5回正副委員長会議	・今後の活動スケジュール等について	9名
10月13日(水) 17:30～19:00 オークスカナル パークホテル富山	第2回人財活躍委員会	・起業支援プロジェクトについて ・講演会(オンライン) 講師：関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究教授 富田 欣和 氏 演題：「VUCA時代に必要なイノベー ティブ思考法～いま、求められる 価値創出の考え方とやり方～」	32名
10月15日(金) 各コース巡回	第3回地域創生委員会	フィールドワーク(委員に観光コース を募集し11コースを設定。参加者が希 望コースを選択して4名程度で巡回)	39名
10月19日(火) 9:00～17:00 高岡市金屋町 勝興寺 ほか	第2回文化スポーツ 委員会	・工房見学、金屋町散策 ・勝興寺拝観 ・「GO FOR KOGEI 2021 特別展」観覧	22名

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
10月21日(木) 17:00~18:30 オークスカナル パークホテル富山	第5回企業経営委員会	・講演会 講師：(株)ナレッジラボ 代表取締役CEO 国見 英嗣 氏 演題：「事業の持続可能性を高める M&Aという選択肢」	48名

### ○課外授業講師派遣

開催日時	学 校	対 象	講師・演題
9月15日(水)	富山県立雄峰高等学校	3学年112名	牧田 和樹 氏 「よりよく生きる」
9月25日(土)	富山県立魚津高等学校	1学年160名	大橋 聡司 氏 「働くこと 学ぶこと 生きること」
9月29日(水)	入善町立入善中学校	2学年102名	牧田 和樹 氏 「働くこと」
10月7日(木)	富山第一高等学校	2学年387名	牧田 和樹 氏 「よりよく生きる」
10月13日(水)	富山県立小杉高等学校	1学年160名	山野 昌道 氏 「企業が求める人物像、3つのポイント」
10月27日(水)	高岡市立志貴野中学校	2学年148名	在田 吉宏 氏 「将来のために 今やるべきこと」
			神崎 直志 氏 「あなたはなぜ働くのですか？ なぜ勉強するのですか？」
			山野 昌道 氏 「人生を幸せにする 3つのコツ」
			張田 真 氏 「社会人と考える自分の「生き方」」
10月28日(木)	高岡市立高岡西部中学校	2学年113名	村尾 于尹 氏 「君たちに期待する」

### ○同友会諸会合

開催日	内 容	場 所	出席者
9月9日(木)	第8回5経済同友会教育担当委員会 交流会（新潟経済同友会主管）	オンライン開催	委員12名、 教諭4名
10月7日(木)	第29回経済同友会中央日本地区会議	静岡県三島市	麦野代表幹事 稲田常任幹事 有藤事務局長

### ○その他の会合

開催日	内 容	場 所	出席者
9月1日(水)	第1回富山県女性活躍推進戦略会議	オンライン開催	中澤人財活躍委員長
9月15日(水)	令和3年度キャリア教育指導者養成 研修（講師）	オンライン開催	高瀬幸忠氏、大橋聡司氏、 尾城敬郎氏、土屋誠氏、 村尾于尹氏、森弘吉氏
10月5日(火)	富山県商工会連合会 創立60周年記念式典	富山国際会議場	塩井代表幹事
10月6日(水)	第17回富山県安全なまちづくり推進大会 第28回全国地域安全運動富山県民大会	富山県教育文化 会館	麦野代表幹事
10月6日(水)	T-Messe2021富山県ものづくり総合 見本市第2回実行委員会	富山県民会館	塩井代表幹事
10月18日(月)	第1回とやまスタートアップ戦略会議	富山県庁	麦野代表幹事
10月26日(火)	第1回とやま学校多忙化解消推進委員会	高志会館	大橋常任幹事
10月30日(土)	「同友会の日」カターレ富山戦応援	富山県総合運動 公園陸上競技場	約100名

# 会員の入退会

(10月幹事会)

1. 最近思うこと (社業についての抱負や最近の政治・経済・社会情勢等についての考えなど)
2. 生活信条 (座右の銘等)
3. 趣味

## 入会



かわしま やすひろ  
川島 康広  
佐藤工業(株)  
執行役員北陸支店長  
(紹介者：金子政史氏)

1. 再生可能エネルギーや省エネ関連に取り組み、担手確保にDXによる生産性向上を図りたい。
2. 出来ない理由を考えるのではなく、どうすれば出来るかを考える。
3. 読書、映画鑑賞

## 交代



とぐち まさゆき  
戸口 正幸  
新菱冷熱工業(株)  
北陸支社長  
(前：中村 恒氏)

1. 2021年10月1日付で北陸支社長に就任いたしました。微力ながら新任務に精励いたす所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
2. 普段が大事
3. ウォーキング(北陸三県を沢山歩きます。)

## 交代



あおき けい  
青木 恵  
富山新聞社  
副代表兼報道局長  
(前：小川哲哉氏)

1. 28年ぶりの富山暮らしです。久しぶりに歩いた街中の景色と人通りに懐かしさと寂しさが入り交じった感覚になりました。富山の頑張りを紙面を通じて応援したいと思っています。
2. 努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。
3. ゴルフ (下手くそですが…)

## 交代



やまもと かつや  
山本 克也  
(株)インテック  
執行役員北陸産業事業  
本部長  
(前：我妻 巧氏)

1. コロナ禍において一気にDXが加速しており、まさに変革への転換期にある。一方でデジタル化が進むほどに、ますますアナログである「人」の重要性が増していると感じる。
2. 人間万事塞翁が馬。目先のことに一喜一憂することなく、ぶれずに先を見据えたい。
3. 映画鑑賞、オーディオ

## 退会

島田 保 (株)シマダ 取締役会長

(令和3年10月11日現在 会員数422名)

## スタートアップ支援を力強く推進！ ～ 富山県知事表敬訪問～

人財活躍委員会（中澤宏委員長）は、県庁に新田八朗知事を訪ね、今年度の起業家支援事業「スケッチオーデション」について説明し、協力を求めた。事業を共催する富山ニュービジネス協議会、とやま未来共創チームの代表として、塩井保彦会長、村上宏康会長が同行し、藤井裕久富山市長も同席した。

事業の内容や、起業家育成の重要性について伝え、知事からは「県も目指す方向は全く一緒。是非、応援させていただきたい」と賛同いただいた。

本事業は地域人材の育成・発掘を主目的と

したビジネスプランコンテストであり、決勝大会（3月）に向け、参加者を育成するプログラムとなっている。11月3日から全11回にわたり、富山駅前CiC内の「スケッチラボ」で勉強会、発表会が行われ、起業や新規事業を志す人材の活発な活動が期待される。



### 今後の予定

開催日	対象	行事	場所
11月21日(日)	あけぼの会会員	第81回あけぼの会ゴルフ・コンペ	呉羽カントリークラブ
12月7日(火)	全会員	年末会員定例会・懇親会 講師：アイリスオーヤマ(株) 代表取締役会長 大山 健太郎 氏 演題：「いかなる時代環境でも利益を出す仕組み」	ANAクラウンプラザホテル富山
1月14日(金)	幹事以上	新年幹事会・富山県知事との昼食会	富山電気ビルディング
1月31日(月)	全会員	1月会員定例会 講師：(株)日本M&Aセンター 専務執行役員 中村 利江 氏	ホテルグランテラス富山
3月7日(月)	幹事以上	3月幹事会	オークスカナルパークホテル富山
	全会員	3月会員定例会 講師：東急(株) 交通インフラ事業部 MaaS担当課長 森田 創 氏	

※新型コロナウイルス感染状況により、変更となる場合がございますのでご了承願います。

#### 〔表紙写真〕

#### 雲龍山 勝興寺(第2回文化スポーツ委員会)

高岡市伏木地区にある勝興寺は、浄土真宗本願寺派の寺院で、奈良時代の越中国府の跡地に建立されたと考えられている。約3万㎡の広大な境内に、銅器の産地・高岡を象徴する亜鉛合金葺きの本堂をはじめ、12棟の重要文化財を有する。

平成の大修理として23年かけて行われた大修理が2021年に完了。実ならずの銀杏、天から降った石、水の枯れない池など「勝興寺の七不思議」も有名。

発行所

富山経済同友会

富山市牛島新町5番5号 インテックビル4階

電話 (076) 444-0660

FAX (076) 444-0661

e-mail: doyukai@po.hitwave.or.jp

http://www.doyukai.org/

## わが青春の1枚



1975年10月 大阪梅田の梅田スケートセンターにて  
(大学3年生の秋 左端が筆者)



1974年1月  
兵庫県姫路市スケートリンクでの新人戦にて



## 氷上で得たもの

株式会社島田商店 代表取締役

島田好美

高校3年の夏でした。担任と相談して決めた某理系大学を父がだめだと言うのです。「進学はしなさい、だけど私学文系に」と言う言葉に、高度経済成長時代に家族を犠牲にして働いていた父が求めた女性像を感じました。また妻（私の母）を早くに亡くした父は私に早く家庭に入ることを望んでいました。確かに母がいない上に、父も単身赴任の家庭は子供心にも寂しいものでした。ですがその事と私の未来は全く別、高校3年生は夢に向かって進みたいのです。

父の出した理系を受けるチャンスは1回だけで浪人もダメ、不合格なら私立文系へという条件の下で受験する事になった私は、安全圏内だと志望学部を変えた結果、合格発表の掲示板に番号はなく、「やはり」が渦巻く中一人佇んでいたことを覚えています。

という訳で進学した関西学院大学社会学部で、講義に微妙な距離を感じていた私がこれと思ったのが体育会スケート部でした。

母が入院していた病院近くのスケートリンクで過ごした時間は結構長く、楽しかった記憶と共に入部を決めました。全くの初心者ではない

ものの、プロのような同期となかなか差が縮まらず、先輩の熱い指導に時には涙ぐみながらとにかく4年間続ける事を決めたのです。

見た目は華やかなフィギュアスケートですが、毎日の練習はとにもかくにも基本のスケートイング、エッジを倒して滑らかに力強く美しくが基本です。基礎体力はもちろん指先まで気を配ってそして笑顔で滑ることを求められるこのスポーツは、受験に明け暮れた私には未知の世界が開くようでした。

朝5時からの練習や部費稼ぎのためリンクでアルバイト、試合前には夜の貸し切り練習とまるで部活動の合間に大学に通う有様でした。写真は3年生の頃、氷上にいる事は全く何でもない事で、少しでも高いジャンプを、きれいなスピンをと年中練習に明け暮れていました。学部ではコミュニケーション論を専攻していましたが、かの津金澤聰広教授に体育会とは両立できないと叱られつつも何とか卒業させて頂きました。冬のオリンピックを見るたび、あのジャンプを跳ぶにはどんな練習をしたのだろうと、今は親心で観ています。